

発言No.

15

受付No. 1

令和6年11月17日

9時36分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

(○をつける)

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 集落機能強化加算について

- ① 第6期中山間地等直接支払制度の見直しで、集落機能強化加算が廃止された。この加算の内容は、中山間地域に暮らす市民の、コミュニティーサロンの開設や買い物支援、高齢者の見守りや送迎などの支援等であるが、市への影響について伺う。

- ② 今後の対策について考えを伺う。

(2) 新規担い手の離農について

- ① 理想と現実のギャップに悩み、新規就農を諦める若者が後を絶たないと聞く。移住者と、受け入れ側の意識の隔たりを縮めることが、定着には欠かせないと感じるが、市の状況を伺う。

- ② 今後の対策について考えを伺う。

(3) スマート農業について

- ① スマート農業技術活用促進法が今年10月から施行された。省力化や生産性向上に役立つ先端技術を導入する農家に対し融資や税制面の支援、産地ぐるみでの機械導入を後押しすると聞く。農業は人口減少、高齢化等により働き手が減少する中、先端技術をどう生かすべきかが重要課題と感じるが、市の考えを伺う。

(4) 地域支援型農業について

- ① 消費者が事前に農産物の購入を約束することで農業を支える「地域支援型農業

(GSA)」が注目され、消費者との接点をどのようにつくるかが成功の鍵と聞く。
新たな取り組みとして、地域農業の発展に繋がると感じるが、市の考えを伺う。

(5) 生きもの調査について

- ① 今年7月に、弥栄の水田において弥栄小学校の児童と地域の生産者による「田んぼの生き物調査」が実施されている。生きもの調査は、児童全員が田んぼに入り、積極的に生物に触れ興味をもって調査したと聞き、環境教育にも繋がると感じた。生きもの調査については、昨年一般質問しており、前向きな答弁であったが、市内の他の学校において水田や河川で「生きもの調査」が実施されているか伺う。
- ② 今回の調査は、西日本農研機構の研究員が現地で指導し、機構の調査マニュアルに沿って実施されており、多くの水生生物の確認や絶滅危惧種の植物も発見された。農業が与える生物への影響や自然環境保全の重要性を学び考える貴重な学習になったと聞いている。今回のような、専門家を招聘して、レベルの高い自然環境学習が重要と感じるが、市内の他の学校で実施が可能か、市の考えを伺う。

2 環境省・自然共生サイトの認定について

- ① 環境省が、生物多様性の保全に貢献する場所「自然共生サイト」に認定する仕組みを設けており、全国44都道府県で253ヶ所が認定されている。残る3県は、認定されておらず、その中に島根県が入っている。認定基準は、生物多様性の価値に関する基準等で、本市の中山間地域においては、認定候補地となる地域はあると感じる。島根県初の認定地域になるように浜田市が取り組みを考えてみてはどうかと感じるが、市の考えを伺う。

3 障がい者の休日活動の送迎について

- ① 障がい者が休日を過ごす場所（日中一時預り事業所等）への移動について、浜田市では事業者が送迎対応をすることができないため、障がい者の保護者が送迎をしているが、中山間地域においてはとても厳しいことだとの声を聞いている。島根県内では、すでに日中一時預り事業所が独自に送迎できるよう、送迎加算対応をしている地域がある。市も送迎加算対応すべきと昨年一般質問をしており、検討するとの答弁であったが、その後、市の考えを伺う。